

令和3年1月15日 社会教育委員会議  
篠ノ井交流センター

# コロナ禍における施設管理運営について

資料4



社会教育委員会議

令和3年1月15日（金）

午後2時～

篠ノ井交流センター

# 篠ノ井交流センターの コロナ禍における 施設管理運営

1. 施設管理面の対応
2. 教養講座・市民講座等の対応
3. 住民自治協議会としての活動  
とその対応
4. 7分館の対応
5. 今後の活動と展望

# コロナ対応は、 市教委の指導の下実施

交流センターが、住民自治協議会の受託運営となっても、当然に、市教委の指導の下実施。

## 感染リスクが高まる「5つの場面」

**場面1 飲酒を伴う懇親会等**

- 飲酒の影響で注意力が低下する。また、酔いが醒め、大声になりやすい。
- 特に敷居などで区切られている狭い空間に、長時間、大人数が滞在すると、感染リスクが高まる。
- また、同じ飲みや箸などの共有は感染のリスクを高める。



**場面2 大人数や長時間におよぶ飲食**

- 長時間におよぶ飲食、例えば早稲のはしごなどは、昼間の通常の食事と比べて、感染リスクが高まる。
- また大人数、例えば5人以上の飲食では、大声になり雑音が増えやすくなるため、感染リスクが高まる。



**場面3 マスクなしでの会話**

- マスクなしに近距離で会話することで、飛沫感染やマイク口飛沫感染での感染リスクが高まる。
- マスクなしでの感染例としては、遠方バスや教師のパーペキューでの事例が確認されている。



**場面4 狭い空間での共同生活**

- 狭い空間での共同生活は、長時間にわたる接触機会が増えるため、感染リスクが高まる。
- 寮の部屋やトイレなどの共有施設での事例が確認されている。



**場面5 居場所の切り替わり**

- 在寮での休憩時間に入っくと同じなど、居場所が切り替わると、気の緩みや環境の変化により、感染リスクが高まることもある。
- 休憩室、喫煙所、更衣室での事例が確認されている。車やバスで移動する際の中でも注意が必要。




## 篠ノ井交流センターご利用者様

「新型コロナウイルス」集団発生を防止するために、篠ノ井交流センターをご利用の際は、下記事項を必ずお守りください。

各事項をお守りいただけない場合は、利用許可を見合わせる場合があります。


**三密 (密閉・密集・密接) を避ける**

三密が重なる場所は、集団(クラスター)発生のリスクが高まります



咳エチケットも忘れずに!


**マスクの着用**




**物品を共有しない**

**換気**


概ね1時間に5~10分



**消毒**




**手洗いうがい**




**距離の確保**

2m程度



**発熱または風邪の症状を感じたら利用しない**



**篠ノ井交流センター**  
防ごう! 「新型コロナウイルス」 [TEL:026\(292\)2121](tel:026(292)2121)

# 1. 施設管理面の対応

## 1 - 1 施設の概要と利用状況



令和元年9月から

新・篠ノ井交流センターで業務開始

◇令和元年度利用者数  
85,900人  
(内、分館が4割)

◇令和2年度利用者数  
27,000人  
(11月末現在)  
(前年同期比 約6割減)

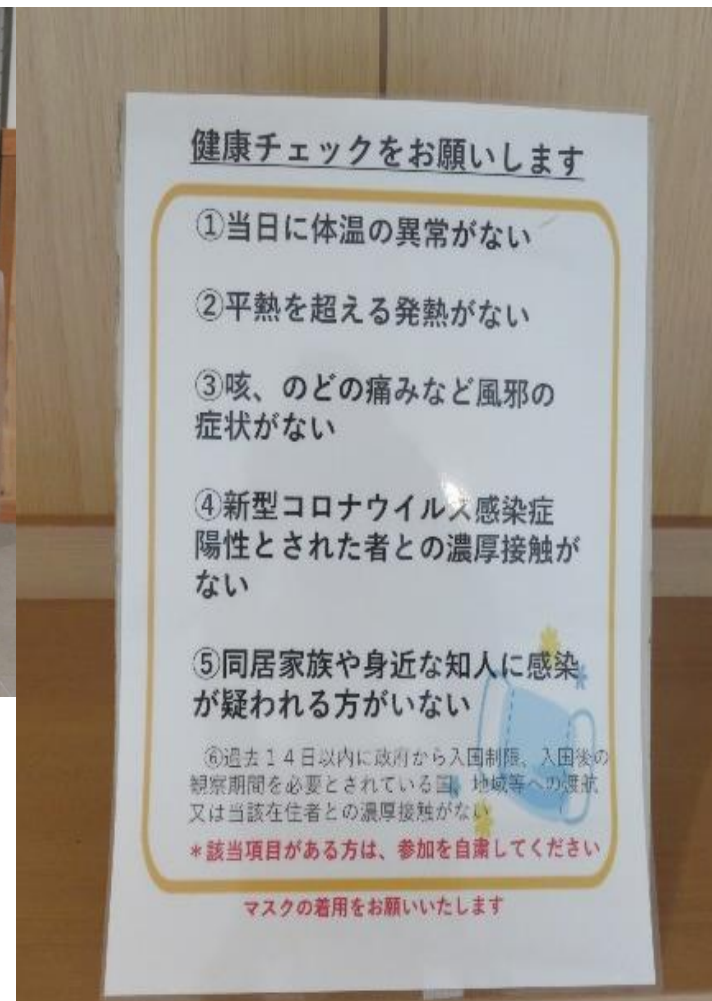
**休館**・本館4月～5月連休明け  
・分館4月～5月末まで

# 1 - 2 コロナ時の施設管理面の対応

- ◆入口での啓発、手指消毒
- ◆注意喚起の声掛け
- ◆看板設置
- ◆部屋の換気対策
- ◆利用後の消毒

## ◆感染防止グッズ **早期に対応**

- ・手指消毒用アルコール
- ・非接触型体温計 2個
- ・フェイスシールド 50個調達  
12万円ほどの出費



⇒ その後、市教委から様々な感染防止対策品が配付される

## 2. 教養講座・市民講座等の対応



### ◇2-1 教養講座 14講座

230人受講、減収は約200万円

- ◆ **3学期制**については、1学期を休講とし、**2学期からの開講**とした。

内容の精査を行い、受講生の習熟度を勘案しながら柔軟な運営に切り替えた。

- ◆ **2学期制**についても、1学期を休講とし、2学期は、9月10月始まりとした。

継続性を担保するため、**「プレ講座」を設定。**

## 2-2 市民講座の様子①



### ◇市民講座中止講座 30講座

- 夏以降は、縮小した講座を開設。
- 会議室の収容人員半減により、募集段階から大幅に減員。
- 料理教室は、更に減員し対応した。

## 2-3 市民講座の様子②



### いろは講座

#### 5回シリーズ

- ・ 定員80人→50人
- ・ 恒例となっていた館外視察はとりやめ、座学のみとした。





## 2-4 センター芸能祭

限定・縮小して、11月1日～3日開催

※50年続いた「文化芸能祭」を、令和元年「センター芸能祭」として、リニューアル。  
しかし、1回目が台風災害で直前中止となり、令和2年が実質初回のセンター芸能祭となる。



### コロナ対応としたことで..

- 当初参加希望団体は**27団体**→<実績>出品・出演団体**13団体**  
合唱・民謡・詩吟など声を出す団体を中心に自粛。
- 芸能参加者は、出演者と関係者のみ鑑賞可とし、出番の済んだ参加者が、他の出演者の演目を鑑賞することとした。

◇ 限定・縮小の結果 参加者は、**288人**（例年の半分程）

# 2-4センター 芸能祭



■受付時に検温、名簿提出

■手指消毒の徹底

■広報は関係者を通してのみ実施

## 2-4 センター芸能祭



↑ 踊りもステージ上の人数制限  
← 小学校合唱ビデオで出演



# 3. 住民自治協議会としての活動

## ◇3-1 人権のつどい 11/29開催

◆必須事務である「人権のつどい」は、参加者を3分の1に限定、来賓無し、時間を短縮し開催。

参加人員 80人

◆児童生徒の人権作文は、ビデオで出演。

◆アトラクション・講演会等によるイベント化していたつどいを『研修会方式』に切り替え実施。



研修会は、地元関係者で担当

- ・ 篠ノ井地区の男女共同参画団体による『ストップ差別』の創作劇
- ・ コーディネータは、地区人権教育指導員が務めた。

# 3-1-2 人権を尊重し合う 篠ノ井市民のつどい



ビデオ出演→



三密回避→



←使用後の  
消毒作業



### 3. 住民自治協議会としての活動

#### ◇3-2 成人式 屋外で開催準備

昨年は、当センター多目的ホールで開催していた成人式を三密回避等の感染拡大防止のため、屋外の長野Uスタジアムでの開催に切り替え実施する方向で準備していた。



15,000人収容のサッカー場。  
新成人が中学在学時に開設



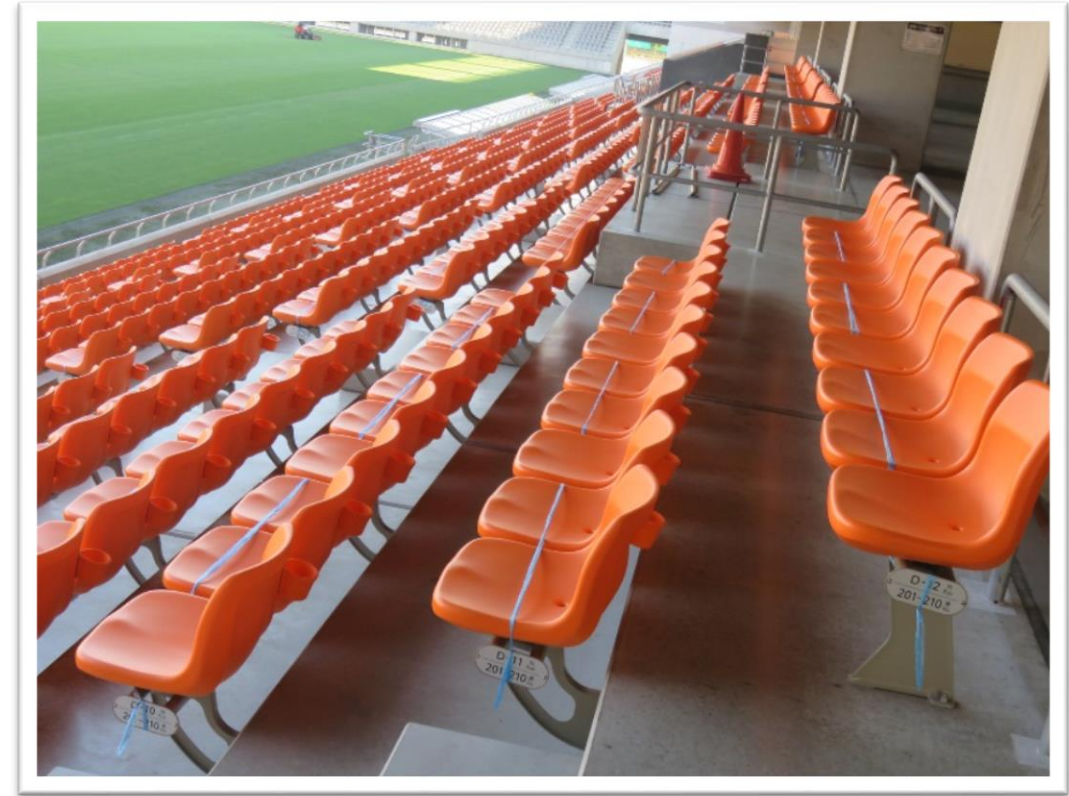
式典開催テラス、  
長沼こまち太鼓の演奏も予定

### 3. 住民自治協議会としての活動

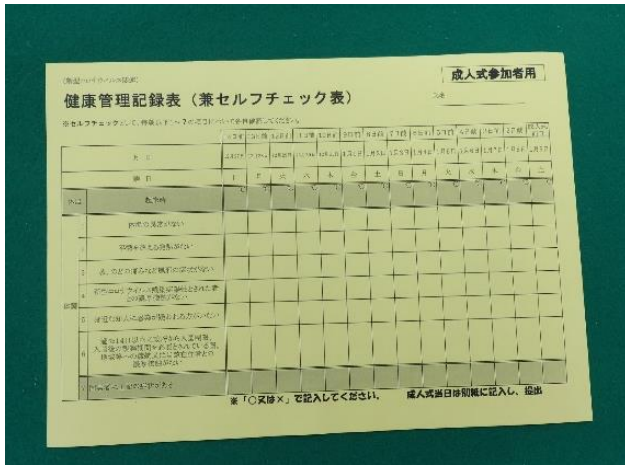
#### ◇3-2-2 感染拡大対策の徹底、寒さ対策等を万全に準備

屋外の**長野Uスタジアム**での開催にあたり、感染拡大防止対策、寒さ対策を万全にし、受入態勢を整え準備していた。式典時間の短縮、来賓は恩師の先生のみ。

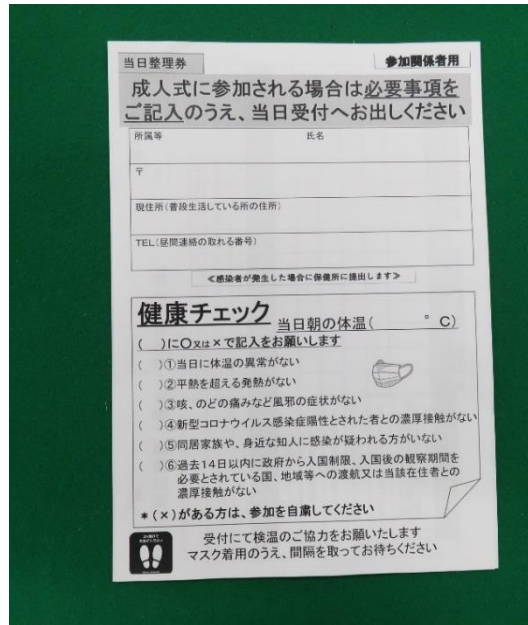
※対象者441人、出席予定者287人（65%）



前後左右1人以上確保した座席シート。  
座席番号のメモ  
記念写真もその場で撮影



2週間前からの  
チェックシート



当日の健康チェックの受付表も提出

## ◇3-2-3成人式 直前に「延期」を決定

学びの課の協力の下、周知した。

◆年末からの首都圏を中心とする感染者数の拡大、1都3県知事による政府への緊急事態宣言の発出要請を受けて、**感染拡大が新たな局面に入っていることから、1月3日関係者と協議し、延期を決定。**

◆間際での変更であり、学びの課の協力の下、県・報道関係機関への連絡、HPで周知することができた。

◆出席者には、電話連絡で対応。

「反応としては、止むを得ない」

が圧倒的

◆今後の日程は、未定。



篠ノ井交流センターHPに掲載した文面

**2021年(令和3年) 篠ノ井地区成人式**

令和3年1月3日現在

**篠ノ井地区成人式に参加予定の皆さまへ重要なお知らせです**

**令和3年篠ノ井地区成人式は 延期します**

成人式参加意思事前確認票】の提出をいただいた皆様には1/5(火)までに、個別に電話等で連絡をさせていただきました。



# 4 【分館】本館に加えて、7分館で構成

川柳分館



塩崎分館



東福寺分館



西寺尾分館



信里分館

共和分館

# 4-1

## 7分館の活動中止あいつぐ

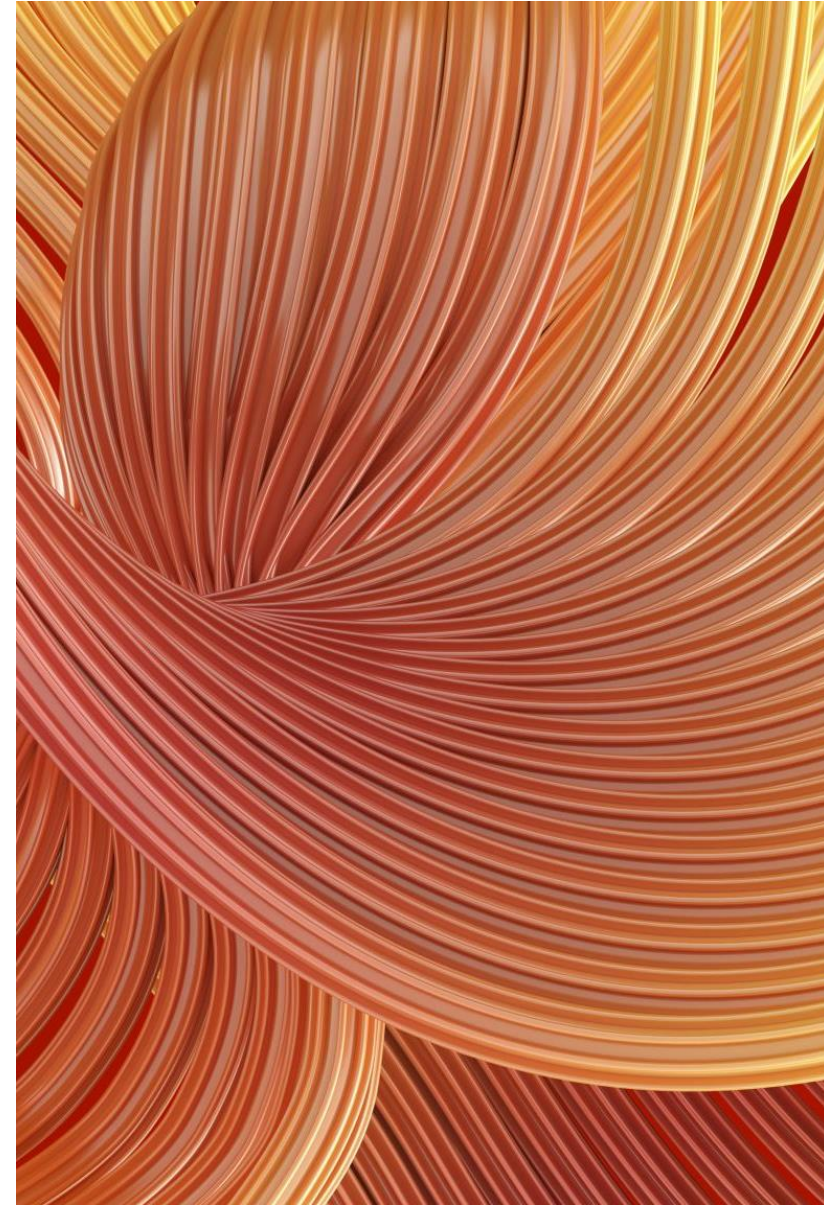
例年、7分館も活発な活動展開

今年は……

- ・各地区の運動会中止
- ・バレー、野球等のスポーツ大会中止
- ・新年会中止
- ・分館芸能発表会中止（展示部門のみ開催の分館あり。）
- ・各種会議中止・縮小  
（区長会・地域委員会、住民自治協議会各部会、各種団体等）

＜参考＞ 昨年の施設利用実績

本館 50,200人、7分館 35,700人



# 5 今後の活動と展望

## 5-1 With コロナにあった講座の設定

1. 健康体操講座の設定
2. フレイル予防講座の設定
3. 地元再発見の講座の設定

with コロナ

## 春の訪れとともに

新たな生活様式に則った講座が更に求められていく。  
その願いに寄り添い、応えていきたい。



**5-2**

**感染拡大防止対策を徹底しながら**

**学びを継続し、地域づくり・生きがいつくり に  
繋げていくことができるよう**

**施設の適正管理・運営に  
努めてまいります**

本日は発表の場をいただき  
ありがとうございました

令和3年1月15日

篠ノ井交流センター

